

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



PPS022-04

会場:国際会議室

時間:5月26日 17:15-17:30

はやぶさ2搭載衝突装置の科学目的 Scientific Objectives of the Impactor on board Hayabusa 2

高木 靖彦^{1*}, 矢野 創², 岡本 千里², 佐伯 孝尚², 赤星 保浩³, はやぶさ2プロジェクトチーム²
Yasuhiko Takagi^{1*}, Hajime Yano², Chisato Okamoto², Takanao Saiki², Yasuhiro Akahoshi³, Hayabusa 2 Project Team²

¹ 愛知東邦大学, ² 宇宙航空研究開発機構, ³ 九州工業大学
¹Aichi Toho University, ²JAXA, ³Kyushu Institute of Technology

探査機「はやぶさ」に続く小惑星探査機「はやぶさ2」は、表面物質サンプリング装置、遠隔観測装置に加えて、衝突装置を搭載する。この小型搭載衝突装置では、質量約2kgの金属塊を秒速2km/secで小惑星表面へ衝突させることが可能になる予定である。この衝突で小惑星1999JU3上でどのような現象が起こると予測されるのか、それをどのように観測して、どのような科学的知見を得ようとしているのかをまとめる。

キーワード: 小天体探査, 衝突現象, 始原物質

Keywords: small body exploration, impact phenomena, primitive material